

安全・安心な農産物を

より多くの消費者に届けたい

(恵庭市 ^{よご}余湖 智 氏)

1 経営の概要

特別栽培経験年数	経営規模(うち特別栽培)	労働力(人)	備考
30年	55.28ha(33.3ha)	5人	パート58人

主な作物名	作付面積・(うち特別栽培)		生産量(10a当り)・(うち特別栽培)	
こまつな	10.0 ha	(9.8 ha)	3,830 kg	(3,830 kg)
だいこん	9.7	(9.7)	3,557	(3,557)
にんじん	3.7	(3.7)	3,643	(3,643)
白かぶ	4.7	(4.7)	2,857	(2,857)
大豆	5.2	(5.2)	155	(155)

2 特別栽培取組の経緯等

(1) 取組みの動機・経過等

- ・約30年前から消費者と交流を行っており、当時、消費者から「安全・安心な農産物を食べたい」という声がかきつけ、昭和58年特別栽培(減化学農薬・減化学肥料)による野菜栽培を取り組み始めた。
- ・経営面積は年々増え続け、現在40種類を超える多品目の野菜を栽培している。
- ・消費者に安定供給を確保するため、特別栽培で生産している農業者と提携してグループを組み安定生産を行っている。



写真1 余湖 智さん(右端)



写真2 (有)余湖農園の看板

3 特別栽培管理技術等の特徴

[特別栽培管理の概要]

こまつな

作型	品種	は種期	収穫期	保温条件
ハウス (4・5月どり)	河北、わかみ、 W336 小松	2/上旬~3/上旬	4/上旬~5/上旬	トンネル・マルチ
露地	菜	4/8~9/15	5/20~11/20	トンネル・マルチ・パオパオ

だいこん

作 型	品 種	は 種 期	収 穫 期	保 温 条 件
トンネル	涼太	4/10～5/4	6/15～8/10	トンネル・マルチ・ハ°ハ°オ
露地・春蒔き	晩抽喜太一 美春	5/10～6/12	7/10～8/12	5/10～5/16 マルチ・ハ°ハ°オ 5/16～6/12 マルチ
露地・夏蒔き	夏つかさ 秋いち	6/12～8/11	9/1～10/30	

にんじん

作 型	品 種	は 種 期	収 穫 期	保 温 条 件
露 地	ベーター312 向陽2号	4/23～6/3 4/23～7/5	8/1～10/30	4月中ハ°ハ°オ

白かぶ

作 型	品 種	は 種 期	収 穫 期	保 温 条 件
トンネル	C R鷹丸 C Rもちばな	4/18～9/5	6/8～10/30	4/18～4/25 トンネル・マルチ・ハ°ハ°オ 4/25～4/28 マルチ・ハ°ハ°オ
露 地		6/5～9/1	7/20～10/30	9/3～9/5 マルチ

大 豆

作 型	品 種	は 種 期	収 穫 期	保 温 条 件
露 地	ユキホマレ・ツルムスメ	5/14	10月下旬	

[栽培管理技術等のポイント、工夫]

(1)土づくり

- ・連作障害を回避するため、業者と提携して年間600tの機能的堆肥（デナグロス堆肥、半熟堆肥）を自家製造し、10a当たり4t施用している。
- ・その他、野菜の栽培前後に緑肥（えん麦）を導入し、ミネラルや貝化石・菌体資材の投入、無材暗渠を実施している。



写真3 堆肥の切り返し

こまつな

主成分	資材名	施用量 (kg/10a)	施用方法	施肥要素量(kg/10a)		
				窒素	リン酸	カリ
有機質肥料	鶏糞	300	全面施用	2.3	5.0	3.0
	魚かす	60		5.1	4.5	1.5

追肥、健全育成としてオーガニック332、万田酵素31号を使用。

だいこん

ボロンアップハイグリーン(ホウ素1%・苦土13.5%)を45kg/10a散布している。

にんじん

主成分	資材名	施用量 (kg/10a)	施用方法	施肥要素量(kg/10a)		
				窒素	リン酸	カリ
有機質肥料	魚かす	60	全面施用	5.1	4.5	1.5
	ベストグアノ	40		0.03	30.5	0.7

その他、ボロンアップハイグリーン(ホウ素1%・苦土13.5%)を45kg/10a散布している。

白かぶ

主成分	資材名	施用量 (kg/10a)	施用方法	施肥要素量(kg/10a)		
				窒素	リン酸	カリ
有機質肥料	ヒトデパワー	100	全面施用	1.5	1.4	0.7
	鶏糞	200		2.3	5.0	3.0
化学肥料	旭レッド	20		15.0	6.0	9.0

大豆

主成分	資材名	施用量 (kg/10a)	施用方法	施肥要素量(kg/10a)		
				窒素	リン酸	カリ
有機質肥料	鶏糞	100	全面施用	2.3	5.0	3.0
化学肥料	S320(豆用)	40		3.0	20.0	10.0
有機質肥料	MOOCAL700	500倍(3回)	葉面散布	0.0	0.0	0.01

(2)病虫害防除

作物名	病虫害名	防除時期	防除対策
こまつな	コナガ、ヨウムシ	9/26	薬剤散布 1回:チュンアップ BT 2,000倍
だいこん	タネハエ、コナガ、ヨウムシ、アブラムシ	8/11	播溝施用 1回:フォース粒剤 9kg/10a
		9/1、9/11	薬剤散布 3回:カスケード乳剤、チュンアップ BT 2,000倍、DDVP50 1,000倍
にんじん	ハキジメ、メイガ	8/23、8/25	薬剤散布 2回: DDVP50 1,000倍
白かぶ	カブラチ、コナガ、ヨウムシ	8/24	アグリワン 30kg/10a
		9/1	播溝施用 1回:フォース粒剤 4kg/10a
		9/15、9/22	薬剤散布 2回:マラソン乳剤 1,000倍
大豆	アブラムシ、マメシロイガ	6/25、7/14、7/26	ゲットアウト: 3,000倍

展着剤にはオアシス21を使用。

緑肥作物(ヘイオーツ)を導入することで、だいこんやにんじんのセンチュウ対策につながっている。

(3)雑草対策

<p>【問題となる雑草】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イネ科雑草(ヒエ等) ・広葉雑草(シロザ、ツユクサ等)
<p>【除草方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だいこん(露地)~カルチ1回 ・コマツナ、白かぶ~手押し式除草機による畝間除草1回 ・大豆、にんじん~薬剤で処理しきれないシロザ、ツユクサは手で抜き取り
<p>【抑草対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルチ栽培を取り入れ、雑草の生育を抑える。

4 生産物の出荷・販売

- ・販売先はコープさっぽろ(北広島店、エルフィン店、えべつ店、野幌店)、恵庭市道の駅直売所「かのな」、卸業者や卸売市場、スーパーマーケット、自然食品店等である。

5 消費者との交流の取組

- ・ コープさっぽろと提携して、豆腐や味噌づくりの出前授業を開催している。また、直接農場に来てもらい、大豆の種まきや枝豆の収穫等の農作業体験を実施するなど、消費者と交流を図りながら、農業への理解を深めている。
- ・ その他にも農園では、種まきや収穫等の体験ができるようになっている。



写真4 枝豆の収穫体験



写真5 味噌づくり体験

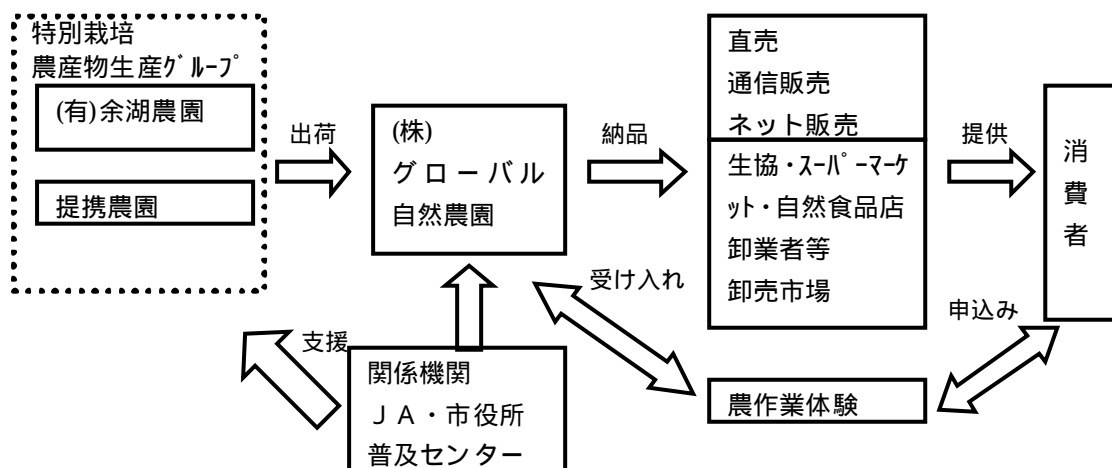


写真6 農産加工品

6 生産者のつながり、関係機関・団体等との関わり

- ・ 消費者に安定供給を図るため、平成3年に販売会社(株)グローバル自然農園を設立した。
- ・ (株)グローバル自然農園は、『こだわり野菜』の流通と消費者との交流を担っている。

(株)グローバル自然農園を中心とした体制図



7 今後の課題と方向

- ・ 特別栽培にこだわった土づくりを重視した取り組みを継続し、品質の良い農産物の生産を目指す。
- ・ 規格外の農作物については、農産物を加工することで付加価値が高められるが、製品化するまでには時間がかかるとともに手間もないので、異業種と提携して規格外の野菜をフリーズドライ化させ、さらに粉末に加工し、販売するまでに至った。今後は粉末にした大豆を利用して麺に練り込み製品化を図る。
- ・ 現在、農作業体験のみ受け入れているが、将来は農作業体験の他に収穫した農産物を加工する施設を設置し、また直売所も備わった観光農園を開く等、農業者ならではの販売を展開する。

作成：石狩農業改良普及センター